

2月の星空まっぴ

【2月中旬 午後8時頃に見える星空】

ホミリー 一月は、すごーく寒かったね。2月4日は立春、暦の上ではもう春なんですよ！早く暖かくならないかなあ。ホミリー春の星空が待ち遠しいよ。

ほし坊 ホント、日本海側では記録破りの大雪、そして全国的な大寒波と、一月は冬将軍が大暴れだったね。さあ、2月はどんな星空が広がっているかな？

「永遠の絆」を願う

冬のダイヤモンド!!

真上に、明るい星が六角形に並んでいるね。「冬のダイヤモンド」と呼ばれている。素敵な名前だね。

よく見ると、6個の星は、赤っぽい色や橙色、黄色、青白い色など、宝石のオンパレードのようにカラフルな色に輝いているのに気が付く。

花言葉ってあるけど、石にも「石言葉」って言うのがあるって、ダイヤモンドには、「永遠の絆」とか「不屈」とか言う意味が込められていると言われているんだよ。

一方、星空には、人の心を癒す力があるように言われる。そんな星空の世界に描かれた宇宙一でかい「ダイヤモンド」。共に見上げれば、どんな困難や苦難も乗り越えられる力と、「永遠の絆」を確かめ合えそうだね。遠く離れた者同士、同じ時間に見上げれば、正に「永遠の絆」で結ばれてるって、心が熱くなるんじゃないかな！

N 北

2026.2

星爺(ほしじい)

M42 オリオン大星雲
M44 ヒアデス星団
M45 すばる(プレアデス星団)

「星」って、いったいどの位遠いのかな?!

地球から一番近いお月さままで約38万 km、太陽までは約1億 5000 万 km。これでも遠いけど、夜空に見える星たちは、もっともっと、ずーと遠いところで輝いている。一体どれ位離れているんだろう? 距離の単位 km では表せず、光年(※)と言う単位で表される。見た目には同じところ(距離)に見える感じだけど、ホントはみんな違うところで輝いているんだ。

そんな星までの距離を、オリオン座の星に注目して見てみよう。主な星までの距離は、概ね次のとおりだよ。

ベテルギウス	約5000光年
リゲル	約7000光年
三ツ星	左側の星 約1300光年 真ん中の星 約1300光年 右側の星 約1500光年
オリオン大星雲	約1500光年

ピントこない距離だけど、それだけ遠いってこと。そして、もっと驚くことは、今見えている星空の向こうには、もっともっと広大な宇宙が広がっているってこと。

こんな星や星座を探そう!

○ 幸せを運んでくれる星座

見つけることができれば、幸せを運んでくれるとギリシア神話が伝える「いっかくじゅう座」ユニコーン。額に角がある想像上の白馬の姿だ。冬の大三角の中に暗い星をつないで潜んでいる。目を凝らして探してみよう。

○ 人生100年に思いを込めて見上げる星

この時期だけ南の低い空をスーと通り過ぎる星「カノープス」南極老人星と呼ばれ、見ることができれば元気で長生きできると言われる星。シリウスに次ぐ、2番目に明るい1等星。

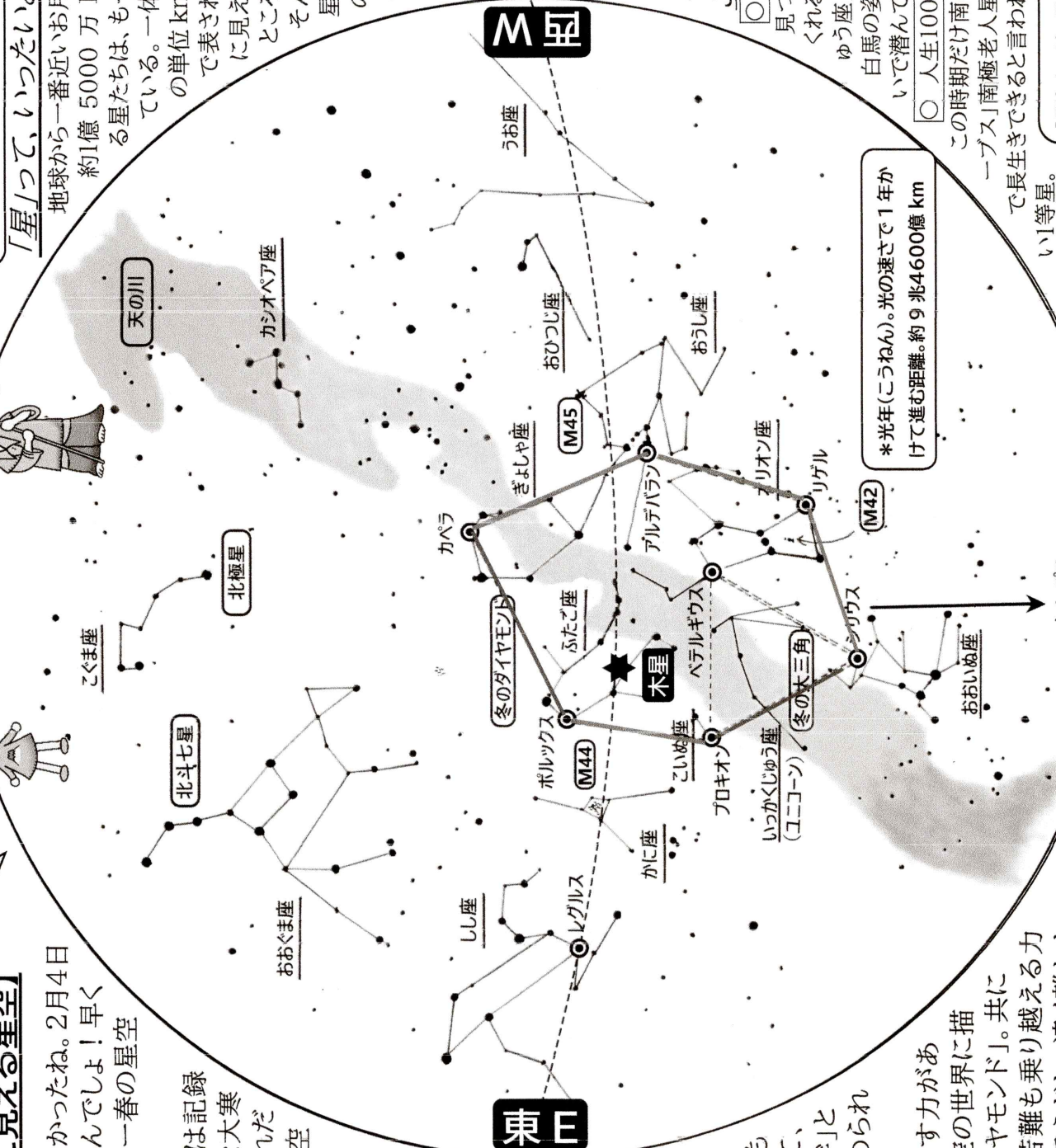
【星空まっぴの見方】

南の空を見上げる時は「南」を下にして、北を見る時はまっぴを「さかさま」にして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

● 1等星以上 ● 3等星
● 2等星 ● 4等星以下

【黄道】
天空の星座の間を移動する
太陽の見かけ上の通り道

南 S



* 光年(こうねん)。光の速で1年かけて進む距離。約9兆4600億 km